

# San-iku 通信

社会福祉法人賛育会の広報誌「さんいくつうしん」

TAKE FREE

さんいく  
さんさんクリニック  
リハビリ  
テーション



REPORT

Vol. **49**  
2026 SPRING

「子どもの発達や困難に耳を傾ける専門クリニック」  
特集 2026年 さんいくさんさんクリニック  
4月開設

- 賛育会2026年度経営方針について
- 介護現場の“気づき”を未来へつなぐ  
ー フットマーク×はなみずきホームの取り組み ー



社会福祉法人  
賛育会

賛育会の小児発達支援  
専門クリニック

さんいく   
さんさんクリニック  
～こころ からだ みらい～

リハビリ室



心理カウンセリング室

特集  
REPORT

## 「子どもの発達や困難に耳を傾ける専門クリニック」 2026年4月開設 **さんいくさんさんクリニック**

(東京都 墨田区)

深くあたたかく、子どもたちを支える医療を。  
一緒におさんぽをするように、「対話」を大切に歩みます。

2026年4月、お子さんの発達支援を専門とする「さんいくさんさんクリニック」が誕生しました。小児のこころの相談外来を専門としていることが、このクリニックの特徴です。

これまで賛育会病院の小児科の一部として運営してきた「子ども相談外来」には、非常に多くのご相談が寄せられてきました。新規予約が数ヵ月待ちとなってしまうこともあり、地域における専門的な支援へのニーズの高まりを強く認識するようになりました。

より多くのお困りごとにお応えするため、このたび複数の専門診療室と、充実したリハビリ体制を備えた独立したクリニックとして、新たな一歩を踏み出すこととなりました。

■「さんさんクリニック」という名に込めた、私たちの願い  
クリニック名とロゴマークには、私たちが大切にしたい「支援のあり方」が込められています。

子ども時代に直面する、こころとからだのさまざまな「むずかしさ」。私たちは、おひさまの光が少しずつ氷を溶かすように、その「むずかしさ」を少しずつやわらげていきたい。小さな一歩を大切にしながらみらいを願い、おさんぽをともにするような気持ちで、お子さんとご家族と一緒に歩み続けたい。クリニック名には、そんな願いを込めています。

一人ひとりの個性が大切にされ、子どもたちが元気にのびのびとみらいへ羽ばたく姿を、ロゴは表しています。

私たちはともに歩みながら、子どもたちの成長を大切に見守ります。



プレイセラピー



リハビリテーション



子ども相談外来  
リハビリ相談外来

■「診断名」ではなく、目の前の「あなた」の声を大切に

私たちの診療において、何よりも大切にしているのは「相談」です。お一人おひとりの声に丁寧に耳を傾けます。

心と体の困難は、お子さん一人ひとり異なります。私たちは、診断名という枠組みだけでお子さんを捉えることはしません。「いま、目の前のおひとり」が抱える、固有の「むずかしさ」に真摯に耳を傾け、対話を重ねることを何よりも大切にしています。

発達の遅れが気になる、学校に行きづらい、落ち着きがないなど、さまざまなご相談に対応しています。

■チームによる多角的なサポートで支える

クリニックでは、医師・心理士・リハビリなどの専門職がワンチームとなり、カウンセリング、専門的なりハビリテーション、発達検査、心理的支援、そして必要に応じた服薬処方など、一人ひとりに合ったアプローチを組み合わせ提供します。お子さんとご家族の「最初の一步」を安心して踏み出せる場所になることを目指しています。

■地域のみらいと、ご家族を支えるクリニックへ

子育ての中でふと立ち止まりたくなったとき、成長に不安を感じたとき、誰かに話をきいてほしいとき、いつでも気軽に相談できる身近にあるクリニックであり続けたいと考えています。

地域や子育て、みらいを支える一員として、私たちは一人ひとりの心に寄り添い、丁寧な取り組みを続けてまいります。

賛育会の小児発達支援専門クリニック  
さんいくさんさんクリニック

完全  
予約制

■ 受付時間

平日 8:45~12:00/13:15~16:15

土曜日 8:45~12:00

■ 休診日

日曜日・祝日・年末年始(12月30日~1月3日)

■ 所在地:賛育会病院 事務棟1階

東京都墨田区太平3丁目16-7

■ お問い合わせ

TEL:03-6658-5319

詳しくは  
こちらから





# 賛育会2026年度経営方針について



すべての命に寄り添う  
医療・福祉の拠点づくりを、  
地域とともに進めています。



社会福祉法人 賛育会  
理事長 平野 昭宏

賛育会は中期3ヵ年計画のJUMPの年を迎え、地域の課題にもっともっと寄り添える賛育会を目指し、地域に根差した質の高い医療・福祉サービスを持続的に提供してまいります。

本年度は、「サービスの質向上」「人材の確保・育成」「経営基盤の強化」「地域連携の推進」を柱として、次の取り組みを進めています。

## ■地域医療・福祉の拠点づくり

墨田区立花地区では、新病院と新特別養護老人ホームの建設が進んでおり、2027年10月には緩和ケアを備えた地域包括ケアの拠点として開設予定です。たちばなホームとはなみずきホームの指定管理2施設が合流するこの新施設が、地域医療・福祉の拠点となることを期待されています。

また、太平地区では、小児・周産期医療を継続するため、賛育会病院の建て替え・再整備を進めています。第一期工事では、築94年の外来棟西館の取り壊し、玄関棟・事務棟の新築工事が完了しました。当初は立花地区の新施設開設後に第二期工事として外来棟・入院棟全体の建て替えを検討する計画でしたが、院長より建物環境の現状に対する強い危機感が示され、理事会としても緊急対応する方針を確認いたしました。工事期間中の経営は厳しさが予想されますが、診療科別損益の見える化や予実管理の徹底により、安定した法人運営を図ってまいります。

## ■すべての命に寄り添う取り組み

介護・保育分野では、認知症ケアや看取りケア、キリスト教保育の実践を通じて、一人ひとりの尊厳に寄り添うケアの充実に努めるとともに、人材育成にも継続して取り組んでいます。

また、「赤ちゃんのいのちを守るプロジェクト」を推進し、内密出産やベビーバスケットに関わる法的課題に向き合いながら、守れる命を守ることを使命として、社会の中で弱い立場にある方々を含め、すべての命に寄り添い、隣人愛を実践する法人であり続けたいと願っています。

本年度も地域の皆さまとともに歩み、賛育会の使命を果たしてまいります。引き続きご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。





# 新たな仲間を迎えて — 2026年度 新入職員入職式・研修を実施しました —

2026年度、賛育会に31名の新卒新入職員が仲間入りしました。看護師や介護員をはじめ、医療・福祉サービスを担う多様な職種の職員が、それぞれの志を胸に社会人として新たな一步を踏み出しました。

4月1日から3日にかけては、静岡県の国際青少年センターYMCA東山荘にて入職式および新入職員研修を実施しました。本会の創立理念や使命、これまでの歩みを学ぶとともに、感染対策、チームビルディング、接遇マナーなど、現場で求められる基礎知識と姿勢を身につけました。

研修は、キリスト教の隣人愛の実践が、賛育会の歴史の中でどのように受け継がれ、現在のサービスや地域支援活動へとつながっているかについて理解を深める機会になりました。加えて、「形として残らないサービスであっても、誰かの心の中に残るサービスであるように」というメッセージにも触れ、支援やケアの本質について考える貴重な場面もありました。

研修期間中には親睦会も開催され、同期同士が交流を深める和やかな雰囲気の中で会話を弾ませていました。

今後はそれぞれの現場で経験を重ねながら、目の前の一人ひとりを大切にす賛育会の理念を実践する職員として成長していくことが期待されます。



屋外研修風景



研修風景



親睦会風景



入職式にて



## 賛育会年間聖句

「キリスト教による隣人愛の実践」という賛育会のミッションが、それぞれの場で生かされ育まれるように、聖書が「今、私たちに」語るメッセージを、堀チャプレンが紹介します。

### 2026年度年間聖句

「涙と共に種を蒔く人は 喜びの歌と共に刈り入れる。」

旧約聖書 詩編126編5節



### 一緒にワクワクできる日を信じて

賛育会チャプレン 堀 成美

小学生時代、朝顔の観察日記をつけることになった時に人生で初めて種蒔きをしました。義務的に作業をする私の横で、同級生は「早く大きく育つといいな」とワクワクの様子。希望と信頼でいっぱいその姿につられて私も期待する一人になりました。

しかし、年間聖句の詩篇の作者は逆の状況。どん底、絶望です。動く元気も出ない。それでも泣きながら種を蒔きます。やがて喜びの刈り入れの時が来ると励ますこの聖句によって「今は辛くてもきっと報われる時が来る」と思える人もいるでしょう。あれもこれも無駄じゃない、この先は良くなると思える聖句のメッセージに感謝したいと思います。

どん底の詩篇の作者が伝えているのは、戦争に負けて捕虜として外国に連れて行かれた時代。解放されて祖国に帰れるの

は嬉しいけど、かつて豊かだった国は荒れ果て、土地は干上がってしまいました。幸せだった時代を思い出して涙、どれくらい復興に時間や労力が必要かと考えて涙。そうです。「過去」と「この一瞬」だけに生きていたら涙が止まりません。しかし、顔をあげ、希望を持ち、未来を信じる選択肢があると聖書は伝えています。疑い深い私は「そんな美しい言葉だけでは騙されませんよ」と思いつつ、私の隣りに神様が置いたワクワクの友人を思い出さずにはいられません。誰でも時に泣きたいほど落ち込んだりしますが、ワクワクを与える人にもなっています。一緒に喜べる時を信じてともに歩いていきましょう。





## 介護現場の“気づき”を未来へつなぐ

### — フットマーク × はなみずきホームの取り組み —

はなみずきホームでは、介護現場の課題を現場だけで抱え込まず、企業の知恵と力を借りる「協働」という新しい支援のかたちを広げています。そのパートナーの一つが、創業80年を誇る、介護される人・介護する人の双方に寄り添った製品づくりを行う「フットマーク株式会社」です。両者が交わることで生まれる、介護現場での新しい取り組みをご紹介します。



**フットマーク株式会社（東京都 墨田区）**

### 現場の「リアルな声」を次世代の製品へ

私たちは、「介護する・される」という関係を超え、関わるすべての人がお互いに心地よくいられるあり方を「快互（かいご）」と呼んでいます。この考えのもと、現場での気づきを活かしながら、よりよい製品づくりを続けています。

「介護現場で生まれる“リアルな声”」は、商品開発の最も重要なヒントです。私たちはボランティアとして直接現場に関わり、職員の方々やご利用者の率直なご意見に触れる機会をいただいています。

今、皆さまが働く現場の中で職員・ご利用者の不便・不安・不満などございましたら、ぜひお声掛けください。アイデアを出し合い、一緒に解決できればと思います。

（フットマーク株式会社 健康快互事業部 石原正敏）



#### 役割と協働

介護用品の開発・製造。  
ボランティア活動を通して、現場のニーズを汲み取り、製品開発にフィードバックしています。



#### 役割と協働

高齢者福祉施設の運営。  
現場をフィールドとして提供し、企業視点を取り入れることでケアの質の向上を図っています。

**はなみずきホーム（東京都 墨田区）**

### 外部の風がもたらす「ケアの質」の向上

2025年4月よりフットマーク株式会社健康快互事業部の皆さまには、ボランティアとして継続的に活動いただいています。毎月来所され、シーツ交換や入浴後のドライヤー、行事の手伝いなど、さまざまな場面でご協力いただいています。ご利用者を「お客様」として尊重し、真摯に向き合う姿勢は、フットマーク様の掲げる「快互」と私たちの「介護」に共通する理念だと感じています。こうした外部の視点は、職員にとってもケアのあり方を見直す貴重な気づきとなり、現場の改善にもつながっています。今後も、地域に根差した大切なパートナーとして、互いに学び合いながら関係を深めていきたいと考えています。

（はなみずきホーム 齋藤理奈）

### 共鳴する「想い」が未来を変える

フットマークが掲げる「快互」と、  
はなみずきホームが追求する「介護」

こうした協働を通じ、企業と施設がともに学び合うことで、新たな価値が生まれ始めています。手を取り合うことで育まれる、より豊かで心地よい介護の未来が、ここ墨田区の現場からかたち作られようとしています。



賛育会では、これからの  
パートナーを募集しています。

賛育会では、介護現場の課題解決、製品・サービスの開発にご関心のある企業様を募集しています。イベント参加や短期間の試行など様々な参画が可能です。まずはお気軽にご相談ください。皆さまのご参加をお待ちしております。

#### 【お問い合わせ先】

社会福祉法人賛育会 法人事務局 総務部  
TEL:03-3622-7614 MAIL:houjin@san-ikukai.or.jp

施設  
通信

イベント

## 地域の皆さまと笑顔でつながる！ イベントのご案内

賛育会では、地域の皆さまが気軽に参加できるイベントを通じて、交流の輪を広げています。相談できる、学べる、楽しめる企画まで、どなたでも立ち寄りやすい内容をご用意しました。ちょっと寄ってみようかな？ そんな気持ちでいらしてください。地域のつながりを広げる時間を一緒に楽しみましょう！

6/11

木

東京清風園 (東京都墨田区立花1-25-12)

### シルバーリハビリ体操



地域の皆さま対象の体操教室を開催しています。関節を動かして筋肉をゆっくと伸ばす、座って行える体操です。道具なしで無理なく続けられる内容で、日常生活の動作にもつながるよう、効果をお伝えしながら進めています。

地域にお住まいの方ならどなたでも参加いただけます。

お申込方法: 電話  
(東京清風園: 03-6861-8771)



6/25

木

7/9

木

10:00-11:00

金井スポーツ広場 (東京都町田市金井2-28)

### 金井町内会納涼盆踊り大会



予定

江戸時代に金井村で始まった、歴史ある盆踊り大会です。昨年清風園が出品したかき氷は、定番のいちごシロップから手作りの梅酢シロップまで多彩な味が人気で、当日は清風園・第二清風園のご利用者も盆踊りの風情を楽しまれています。

どなたでも参加いただけます。

出店予定: かき氷(清風園)



6/5

金

11:30-13:00

たちばなホーム (東京都墨田区立花3-10-1)

### レタス会



千葉大学で水耕栽培されたレタスを収穫し、調理と食事を楽しみながら、たちばなホーム入居者と地域の皆さんが交流するイベントです。薬膳茶の試飲やハーブクラフト体験など、季節ごとのワークショップも行っています。

地域にお住まいの方ならどなたでも参加いただけます。

お申込方法: 電話  
(たちばなホーム: 03-3613-8718 担当 渡邊)



6/14

日

10:00-14:00

豊野事業所 (長野県長野市豊野町豊野634)

### さんいく会まつり

23回目を迎える今年も、初の春開催です。のど自慢大会やチアリーディング、フォトコンテスト、子ども広場などを行うほか、健康チェックコーナーでは動脈硬化測定・骨密度測定・健康相談を無料で受けられます。「幸腹食堂」も開催予定です。

どなたでも参加いただけます。



7/25

土

金井スポーツ広場 (東京都町田市金井2-28)

### 金井町内会納涼盆踊り大会



予定

江戸時代に金井村で始まった、歴史ある盆踊り大会です。昨年清風園が出品したかき氷は、定番のいちごシロップから手作りの梅酢シロップまで多彩な味が人気で、当日は清風園・第二清風園のご利用者も盆踊りの風情を楽しまれています。

どなたでも参加いただけます。

出店予定: かき氷(清風園)



8月

日程未定

第二清風園 (東京都町田市薬師台3-270-1)

### 鶴川やってみる会 夏休みこどもイベント

第二清風園の「地域連携委員会(鶴川やってみる会)」と近隣住民主催の、地域の子どもたち対象の夏休みイベントです。スイカ割りやゲームコーナー、花火など、毎回わくわくする企画をご用意しています。夏の思い出づくりにぜひご参加ください。

地域にお住まいのお子さん＆ご家族が対象です。

お問合せ・お申込方法: 電話  
(第二清風園 鶴川やってみる会: 042-736-6906)



## 主要人事

〈施設長等の異動について〉

2026年4月1日付

赤荻 佐和 墨田・中央事業所 地域事業所長 兼 東京清風園 施設長から、墨田・中央事業所 地域事業所長 兼 マイホーム新川 施設長とする

北川 達三 マイホーム新川 施設長から、相良清風園 施設長とする

木口 圭子 清風園 施設長から、東京清風園 施設長とする

石田 悟 町田事業所 地域事業所長 兼 第二清風園 施設長から、法人事務局 財務部長とする

伴 成顕 豊野清風園 施設長から、第二清風園 施設長とする

小林 正和 相良清風園 施設長から、豊野清風園 施設長とする

遠矢 充宏 法人事務局 総務部長 兼 新病院・新施設開設準備室室長から、町田事業所 地域事業所長 兼 清風園 施設長とする

杉浦 広隆 法人事務局 人事部長から、法人事務局 人事部長 兼 賛育会 ミッションサポート部長とする

堀家 世司 保育園事業所 地域事業所長 兼 法人事務局 財務部長 兼 新病院・新施設開設準備室副室長から、法人事務局 総務部長 兼 新病院・新施設開設準備室室長 兼 保育園事業所 地域事業所長とする



## 皆さまのお支えに感謝いたします

2026年1月1日～3月31日までに下記の団体・個人の方々よりご寄付をいただきました。深く感謝申し上げます。複数回ご寄付いただいた方も表記は一度とさせていただきます(敬称略 順不同)。

愛智 直行	小池 ひろみ	高辻 寿子	湯沢 美紀
青木 直典	小林 明彦	武知 麟次郎	横井 伸夫
赤荻 佐和	小林 利紀子	谷口 博大	吉田 佳未
有田 恵子	齋藤 たけ	崔 美樹	吉野 京子
五十嵐 康則	齊藤 敏之	寺田 正毅	渡邊 賢一郎
石川 周子	齊藤 實	中村 明子	青山学院初等部
石沢 千恵子	坂口 直樹	西原 文隆	学校法人日本聾話学校 ライシャワー学園
猪野 充敏	迫間 兼雄	野田 昌太郎	尚綱学院大学 宗教部
岩田 雅男	佐藤 陽子	服部 万里子	東洋英和女学院 中高部 宗教委員会
牛島 和夫	澤田 直幸	濱野 博	牧之原(相良)区
大江 浩	澤戸 晃	平野 毅	日本基督教団 浅草教会・こどもの教会
太田 丈嗣	篠田 真紀子	平野 俊如	日本基督教団 亀戸教会
太田 裕子	篠原 栄子	藤田 好夫	日本基督教団 下谷教会
大谷 直子	柴田 和子	藤村 誠	日本基督教団 玉川教会
大塚 衣織	島根 慶一	堀内 靖	日本基督教団 南遠教会
恩田 勝	清水 利郎	堀家 世司	日本基督教団 曳舟教会
鹿島 亜紀	白石 勝雄	箕輪 ひろみ	日本基督教団 松戸教会
柏木 文代	鈴木 勝幸	宮澤 敏	日本基督教団 弓町本郷教会
上重 達夫	鈴木 小百合	武藤 かず子	日本基督教団 四谷新生教会
川名 とし子	鈴木 茂	森重 勝	
木口 圭子	十亀 寿子	八木 はるみ	

匿名希望 51名



### 賛育会広報誌「San-iku通信」設置 ご協力施設・店舗様を募集しています

賛育会では、地域の皆さまに活動内容や取り組みを広く知っていただくため、広報誌「San-iku通信」を年4回発行しております。

このたび、多くの方にお届けするため、本誌の設置にご協力いただける施設・店舗様を募集しております。地域貢献の一環として、来訪者への情報提供にもお役立ていただけますので、ご関心をお持ちいただけましたら、お気軽にお問い合わせください。

#### 【お問い合わせ先】

社会福祉法人賛育会 法人事務局 総務部  
TEL:03-3622-7614 MAIL:houjin@san-ikukai.or.jp



### 賛育会へのご支援のお願い

賛育会では、子ども食堂やオレンジカフェなど子どもからお年寄りまで、地域のすべての人に寄り添い、サポートする様々な活動を展開しています。今後の地域支援活動継続のため、どうか私たちの活動にご賛同いただき、温かいご支援を賜りますようお願い申し上げます。



赤ちゃんのいのちを守るプロジェクト  
サポーターも募集しています

詳しくはこちらをご覧ください

賛育会ホームページ  
「賛育会へのご支援のお願い」  
(<https://www.san-ikukai.or.jp/participate/>)



## San-iku通信

社会福祉法人賛育会の  
広報誌「さんいくつうしん」  
San-iku通信 Vol.49 2026 春号  
編集:賛育会法人事務局 発行人:中村 基信 発行所:社会福祉法人 賛育会

賛育会後援会だより **さんいく**

賛育会後援会だより 2026年5月号・第116号  
編集・発行人:小堀 洋志  
(20260525-6520)

社会福祉法人 賛育会  
〒130-0012 東京都墨田区太平3-17-8  
URL <https://www.san-ikukai.or.jp/>

お問い合わせ  
TEL:03-3622-7614

